

《お客様本位の金融サービスを実現するための方針》に関する取組状況

とちぎんTT証券は、お客様に親しまれ、信頼される地域密着型の証券会社として地域社会の発展に貢献するため、2024年度には以下の取組を行いました。

1. お客様の最善の利益の追求のために

＜方針＞

・当社は、お客様の最善の利益とは、「お客様に親しまれ、信頼される地域密着型の証券会社として地域社会の発展に貢献するという理念のもと、お客様の資産運用に関する課題解決や想いに寄り添い、お客様一人ひとりのニーズにふさわしい商品・サービスを提供し続けることで、お客様にご満足いただくこと。」であると考え、お客様の満足に向けて、従業員一人ひとりが、誠実かつ公正に業務を行います。また、お客様本位の業務運営が、当社の企業文化として定着するよう取組んでまいります。

＜アクションプラン＞

- ・当社は、お客様の資産運用に関する想いに寄り添った、商品・サービスのご提供のために必要なお客様の情報・ニーズの収集と蓄積に努めます。
- ・当社は、お客様に対する誠実・公正な業務を行うために必要な社内研修、資格取得に努めてまいります。
- ・中長期運用、ポートフォリオご提案の実践等、持続可能な業務態勢の構築を行ってまいります。

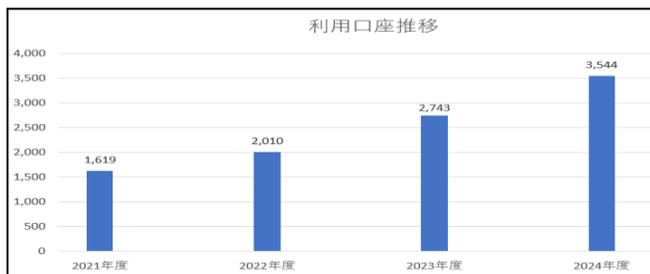
○取組状況（2024年度）

原則2：顧客の最善の利益の追求 / 原則6：顧客にふさわしいサービスの提供 に対応

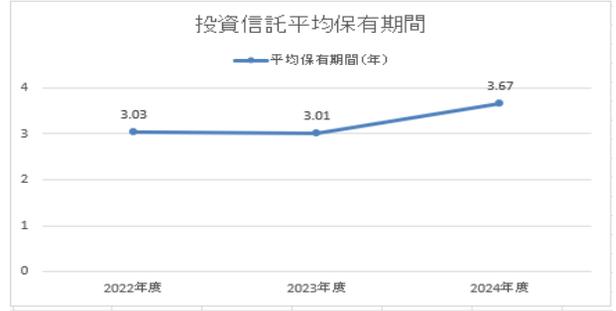
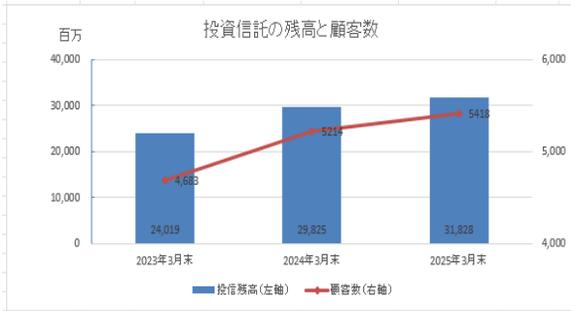
●お客様に多様な取引機会を提供するための「とちぎんTT証券ダイレクト」でお客様にとって利便性が高く、店舗取引と比べ割安なコストの取引提供を継続いたしております。

	取引顧客数	取引金額
2021年度	845	6,336百万円
2022年度	881	8,180百万円
2023年度	1,112	14,312百万円
2024年度	1,533	17,254百万円

●中長期運用、ポートフォリオご提案の実践のための、お客様の考えるモデルポートフォリオのヒアリングに努めております。



1. お客様の最善の利益の追求のために



お客様の資産形成・資産運用をサポートするための情報提供などの取組みの結果、投資信託を保有するお客様の数は年々増加しています。

2024年度は、「長期・分散」投資の浸透により、純資産残高は増加し、平均保有年数は3.67年となりました。

今後もお客様の資産形成・資産運用におけるパフォーマンスの向上に繋がるよう、当社は引き続き、「長期・分散」投資を通じた提案を行ってまいります。

- とちぎんTT証券ダイレクトでのかんたん入金「リアルタイム口座振替」
- ・ご入金に関し、栃木銀行に預金口座をお持ちのお客様に対し、振込手数料のかからない「リアルタイム口座振替」を提供いたしております。

とちぎんTT証券ダイレクトのリアルタイム口座振替サービス紹介画面。画面には「リアルタイム口座振替サービス」という大きな文字があり、その下に「手数料無料でお得!」「来店不要で便利!」「とちぎんTT証券ダイレクトで簡単!」という3つのポイントが示されています。また、「銀行へ足をお運びいただくなくても」とちぎんTT証券ダイレクトで振替（ご入金手続き）が完了します!というメッセージも含まれています。右側には「とちぎんTT証券TV」や「とちぎんTT証券ダイレクト ログイン」のボタンがあります。下部には個人情報保護方針、利益相反管理方針の概要、金融ADR制度への対応について、業務及び財産の状況に関する説明書、顧客資産の分別管理に関する保証業務について、重要情報シート（金融事業者編）、約款・規定集などのリンクが並んでいます。

- 「F D推進委員会」による、お客様本位の金融サービス実現のための施策立案と検証
- ・顧客本位の業務運営を支える組織体制の強化としての「F D推進委員会」を経営会議の配下に設置し、社内横断的に共有/協議することで当社内 F Dの高度化を図っております。

2. 利益相反の適切な管理体制について

<方針>

・当社は、法令諸規則ならびに利益相反管理方針に基づき、お客様に対して適切でない取引が行われることのないよう、お客様との利益相反の可能性を把握し、適切に管理いたします。

<アクションプラン>

・当社は、利益相反管理方針に基づき、お客様の損失等により当社又は当社の関係者が経済的利益を得る可能性がある場合等、お客様の利益が不当に損なわれる可能性がある場合には、その取引を中止させていただく等、適切な管理を行います。

・商品選定に際しては、特定の商品提供会社に偏ることのない商品ラインアップといたします。

①取組状況（2024年度）

原則3：利益相反の適切な管理 に対応

当社では、お客さまの利益を不当に害することがないよう、「利益相反管理方針」を策定し、利益相反の恐れのある取引について管理することとしております。

・お客様のご意向に沿わない取引が行われないう、販売状況など本部にてモニタリングを実施しております。
・グループ間取引については、投資信託における同一銘柄商品の銀証間売買について突合管理と、入出金顧客資金循環を含めた不適切取引のモニタリングを実施し、その状況をコンプライアンス委員会に毎月報告するなど、未然防止に努めております。

・当社の「利益相反管理方針の概要」は、当社ホームページからご覧いただけます。

（当社ホームページURL：<https://www.tochigintt.co.jp/>）

・商品選定の際にコンプライアンス部門が、特定の商品提供会社への偏りがないように、審査を行っております。投資信託につきましては、商品数84商品、投資信託委託会社数は21社と、偏りのない状況を確認いたしております。

3. お客様にご負担いただく手数料等について

<方針>

・当社は、お客様にご負担いただく手数料やその他の費用について、その対価となるサービスの内容も含め、お客様にご理解いただけるように分かりやすく丁寧にお伝えいたします。

<アクションプラン>

・当社は、お客様にご負担いただく手数料や費用を、契約締結前交付書面（目論見書等）・設計書・パンフレット等（重要情報シートを含む）を活用し、商品に内包したお客様の実質負担となる費用がある場合を含め、お客様に分かりやすく丁寧にご説明いたします。

原則4：手数料の明確化 原則5：重要な情報の分かりやすい提供 に対応

①取組状況（2024年度）

・お客様にご負担いただく手数料等について、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書など、または、当社のホームページ（「リスク・手数料等」ページ）でご確認いただくことができます。また、投資信託については、当社ホームページに「投資信託の申込銘柄一覧表」を掲示し、目論見書及び目論見書補完書面等に、運用・管理の対価としての費用であることなどを記載しております。それらの資料（冊子）やタブレット（2in1PC）を使用し、お客さまにご理解いただけるよう丁寧にご説明しております。



とちぎんTT証券「リスク・手数料説明ページ

（https://www.tochigintt.co.jp/risk_fee/index.html）

3. お客様にご負担いただく手数料等について

投資信託の申込銘柄一覧表(当社ホームページ掲載)

投資信託の申込銘柄一覧表

銘柄名	ネット 数値 (注1)	新NISA (投資信託 特例) (注2)	新NISA (NISA) (注3)	定期買付サービス 対象外(注4)	お申込手数料(消費税込)	(税抜)	お申込単位	受渡日 (申込日から)	決算期		
三菱UFJアセットマネジメント											
グローバル・ソブリン・オープン (毎月決算型) 分配金受取コース	○	-	-	-	1億円未満 1億円以上	1.650% 1.100%	1.50% 1.00%	10,000円(円)以上1円(円)単位	5 営業日	毎月	
グローバル財産 3 分法ファンド (毎月決算型) 分配金受取コース	○	-	-	-	1000万円未満 1000万円以上5000万円未満 5000万円以上3億円未満 3億円以上	2.750% 2.200% 1.100% 0.825%	2.50% 2.00% 1.00% 0.75%	10,000円(円)以上1円(円)単位	6 営業日	毎月	
アジア・パシフィック・ソブリン・オープン (毎月決算型) 分配金受取コース	○	-	-	-	1000万円未満 1000万円以上5000万円未満 5000万円以上3億円未満 3億円以上	2.750% 2.200% 1.100% 0.825%	2.50% 2.00% 1.00% 0.75%	10,000円(円)以上1円(円)単位	5 営業日	毎月	
国際インド債券オープン (毎月決算型) 分配金受取コース	○	-	-	-	5000万円未満 5000万円以上2億円未満 2億円以上3億円未満 3億円以上5億円未満 5億円以上	3.300% 2.200% 1.100% 0.550% なし	3.00% 2.00% 1.00% 0.50% -	10,000円(円)以上1円(円)単位	5 営業日	毎月	
ワールド・リット・オープン (毎月決算型) 分配金受取コース	○	-	-	-	1000万円未満 1000万円以上5000万円未満 5000万円以上3億円未満 3億円以上	2.750% 2.200% 1.100% 0.825%	2.50% 2.00% 1.00% 0.75%	10,000円(円)以上1円(円)単位	5 営業日	毎月	
アメリカン・ニュー・ステージ・オープン 分配金受取コース	○	-	-	-	5000万円未満 5000万円以上2億円未満 2億円以上3億円未満 3億円以上5億円未満 5億円以上	3.300% 2.200% 1.100% 0.550% なし	3.00% 2.00% 1.00% 0.50% -	10,000円(円)以上1円(円)単位	6 営業日	年4回	
サイバーセキュリティ株式オープン (高替ヘッジあり) (高替ヘッジなし) 分配金受取コース/分配金再投資コース	○	○	-	○	(高替あり) 557.27 (高替なし) 558.27	5000万円未満 5000万円以上2億円未満 2億円以上3億円未満 3億円以上5億円未満 5億円以上	3.300% 2.200% 1.100% 0.550% なし	3.00% 2.00% 1.00% 0.50% -	10,000円以上1円単位	5 営業日	年1回
サイバーセキュリティ株式オープン ◆スイッチング◆						2億円未満 2億円以上	1.100% なし	1.00% -			
ワールド・ビューティー・オープン (高替ヘッジあり) (高替ヘッジなし) 分配金受取コース/分配金再投資コース	○	○	-	○	(高替あり) 555.27 (高替なし) 556.27	5000万円未満 5000万円以上2億円未満 2億円以上3億円未満 3億円以上5億円未満 5億円以上	3.300% 2.200% 1.100% 0.550% なし	3.00% 2.00% 1.00% 0.50% -	10,000円以上1円単位	5 営業日	年2回
ワールド・ビューティー・オープン ◆スイッチング◆						2億円未満 2億円以上	1.100% なし	1.00% -			

4. 重要な情報の分かりやすい提供について

<方針>

- 当社が、お客様に金融商品をご提案する際には、お客様の投資経験等を考慮し、重要情報シートやタブレット端末等を活用し、金融商品のリスクや運用実績、取引条件などの重要な情報を分かりやすく丁寧に説明いたします。
- 当社は、複数の金融商品をパッケージとしてご提案する際は、個別での購入も可能かどうかを含め、それぞれの重要な情報について、分かりやすく丁寧に説明いたします。

<アクションプラン>

- お客様のライフプランやご意向ならびに適合性などの情報を適切に把握し、目標とする資産額やリスク性資産の適切な割合などに配慮し、お客様にとって最適な商品・サービスの提供を行ってまいります。
- お客様のライフプランやニーズに合った商品を比較検討できるよう、当社が取扱う金融商品やサービスについて、パンフレットや重要情報シート等を用い、丁寧に説明致します。
- 金融商品やサービスのご契約後においても、お客様のライフプランやご意向に変化がないか定期的にアフターフォローを実施し、継続的な情報提供に努めてまいります。
- 金融商品の仕組み等について、お客様のご年齢や投資経験等に合わせ、わかりやすく情報提供できるよう、商品パンフレット等の充実や従業員の研修・教育を実施してまいります。
- 新たな商品・サービスを導入する際には、導入プロセスに基づき取扱商品を選定いたします。

4. 重要な情報の分かりやすい提供について

①取組状況（2024年度）

原則 2：顧客の最善の利益の追求/原則 4：手数料の明確化
 原則 5：重要な情報の分かりやすい提供/原則 6：顧客にふさわしいサービスの提供 に対応

お客様の取引経験や金融知識を考慮の上、明確、平易であって、誤解を招くことのない誠実な内容の情報提供を行いました。複雑さに見合った情報提供を、分かり易く行っております。

- ・お客様に、「市況状況」「商品情報」「相続・税制」等について、とちぎん T T 証券 T V による、動画でわかりやすい情報提供を行っております。
- ・より同種の商品と比較することが容易となるよう、重要情報シート（ファンドラップ含む）の導入を行っております。
- ・お客様の中長期的な資産形成に資する、投資信託を用いたポートフォリオ構築についてわかりやすく解説した「ファンドセクション」を作成いたしました。
- ・オンライン商談システム「bellFace（ベルフェイス）」を導入し、電話による説明に比べ、より分かりやすくお客様に情報提供ができるようにいたしております。また目論見書など電子交付にも対応しております。

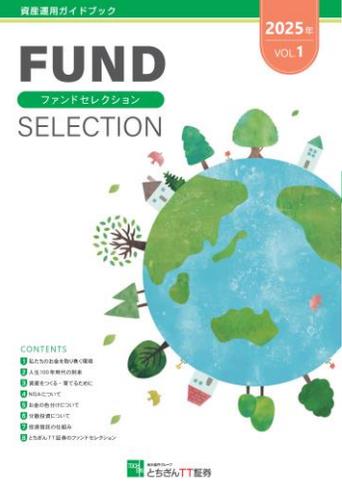
<とちぎん T T 証券 T V >



<bellface（ベルフェイス）>

・気軽にオンライン面談～提案～目論見書交付～ご成約が可能な電話をベースとしたオンライン商談システムです。
 ・目論見書、パンフレット等を提示の上、電話のみの場合に比べわかりやすい情報提供と商品提案を可能といたしました。

<ファンドセクション>



1 私たちのお金を取り巻く環境



<重要情報シート>

個別商品別	心付点	ポイント
① 国債（国債ファンド）	○	○
② 国債（国債ファンド）	○	○
③ 国債（国債ファンド）	○	○
④ 国債（国債ファンド）	○	○
⑤ 国債（国債ファンド）	○	○
⑥ 国債（国債ファンド）	○	○
⑦ 国債（国債ファンド）	○	○
⑧ 国債（国債ファンド）	○	○
⑨ 国債（国債ファンド）	○	○
⑩ 国債（国債ファンド）	○	○
⑪ 国債（国債ファンド）	○	○
⑫ 国債（国債ファンド）	○	○
⑬ 国債（国債ファンド）	○	○
⑭ 国債（国債ファンド）	○	○
⑮ 国債（国債ファンド）	○	○
⑯ 国債（国債ファンド）	○	○
⑰ 国債（国債ファンド）	○	○
⑱ 国債（国債ファンド）	○	○
⑲ 国債（国債ファンド）	○	○
⑳ 国債（国債ファンド）	○	○
㉑ 国債（国債ファンド）	○	○
㉒ 国債（国債ファンド）	○	○
㉓ 国債（国債ファンド）	○	○
㉔ 国債（国債ファンド）	○	○
㉕ 国債（国債ファンド）	○	○
㉖ 国債（国債ファンド）	○	○
㉗ 国債（国債ファンド）	○	○
㉘ 国債（国債ファンド）	○	○
㉙ 国債（国債ファンド）	○	○
㉚ 国債（国債ファンド）	○	○
㉛ 国債（国債ファンド）	○	○
㉜ 国債（国債ファンド）	○	○
㉝ 国債（国債ファンド）	○	○
㉞ 国債（国債ファンド）	○	○
㉟ 国債（国債ファンド）	○	○
㊱ 国債（国債ファンド）	○	○
㊲ 国債（国債ファンド）	○	○
㊳ 国債（国債ファンド）	○	○
㊴ 国債（国債ファンド）	○	○
㊵ 国債（国債ファンド）	○	○
㊶ 国債（国債ファンド）	○	○
㊷ 国債（国債ファンド）	○	○
㊸ 国債（国債ファンド）	○	○
㊹ 国債（国債ファンド）	○	○
㊺ 国債（国債ファンド）	○	○
㊻ 国債（国債ファンド）	○	○
㊼ 国債（国債ファンド）	○	○
㊽ 国債（国債ファンド）	○	○
㊾ 国債（国債ファンド）	○	○
㊿ 国債（国債ファンド）	○	○

5. お客様にふさわしい商品・サービスの提供について

<方針>

- ・当社は、お客様がお考えになるライフプランや金融商品に対するご意向を第一とし、お客様の投資経験やお取引の目的等に照らし、最適な商品やサービスをご提案いたします。特に、投資がはじめてのお客様やご高齢のお客様につきましては、ご提案する商品やサービスが適切かどうか、より慎重に判断いたします。
- ・当社は、多様化するお客様のニーズにお応えするため、幅広い商品ラインアップの構築に努めます。
- ・当社は、市場動向やお客様の運用状況等を踏まえ、タイムリーで分かりやすいアフターフォローを実施いたします。

<アクションプラン>

- ・当社はお客様に金融商品をご提案する際に、商品のリスクや運用実績・取引条件・販売対象として想定するお客様層などの重要な情報を、同種の商品と比較することが容易となるよう、重要情報シート及び販売用資料等を活用して、分かりやすく丁寧にご説明いたします。
- ・仕組みが複雑またはリスクの高い商品の販売を行う場合は、重要情報シート等の資料を用いて、商品性やリスク・手数料など、より分かりやすく丁寧な説明に努めます。
- ・当社は、重要な情報をお客様に分かりやすく提供するため、パンフレットの充実やタブレット端末を活用した提案ツールの拡充を図ってまいります。
- ・お客様との利益相反の可能性がある場合、その具体的な内容及び取引等に及ぼす影響についてご説明いたします。

①取組状況（2024年度）

原則2：顧客の最善の利益の追求/原則5：重要な情報の分かりやすい提供
原則6：顧客にふさわしいサービスの提供 に対応

- ・投資信託については、2024年度の新規取扱い商品は8商品です。コストリターン・リスクリターンの不芳な銘柄について取扱い銘柄の見直しを行ったことにより、取扱い銘柄を107銘柄から84銘柄へ減少しました。
- ・栃木銀行グループとしての販売商品のガバナンスのより一層の向上を図り、新商品の導入時及び販売商品の定期モニタリング時に「リスク・リターン」「コスト・リターン」を検証する体制を強化いたしました。
- ・多様化するお客様の資産運用ニーズにお応えするため、「長期分散投資によるリスクを抑えた運用」「お客様に合わせた資産配分」「徹底した高度な運用プロセス」「定期的な運用報告とお客様フォロー」を特徴としたとちぎんT T証券ファンドラップを取り扱い、コミュニケーションシートを用いたゴールベースアプローチによるお客様に最適な運用プランをご提案いたしております。

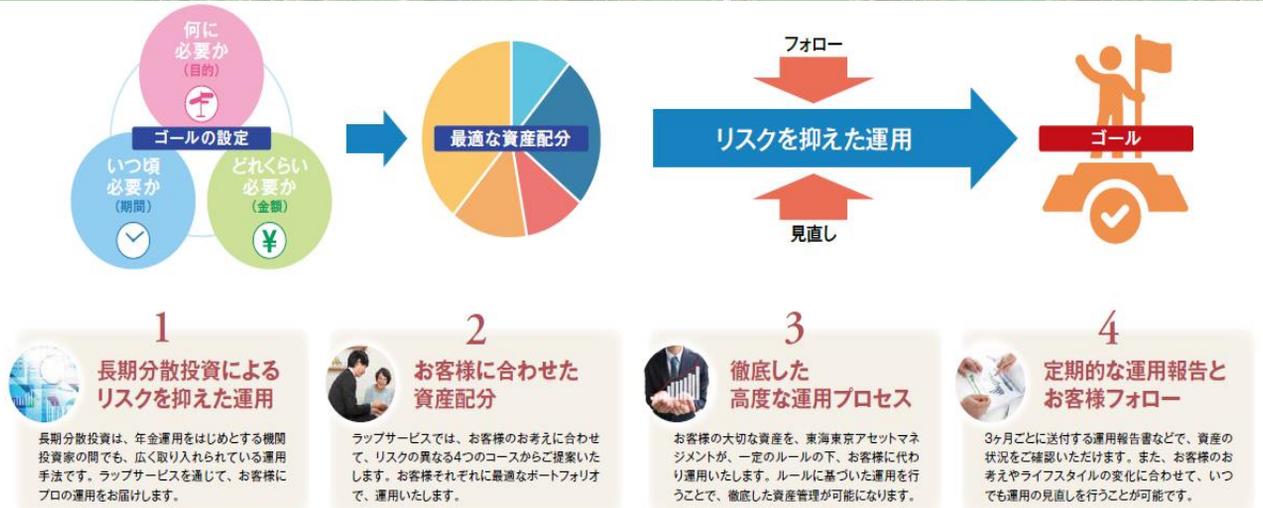
○ 投資信託ラインアップ（2025年3月末現在）

商品タイプ		商品数
債券	国内債券型	1
	海外債券型	5
株式	国内株式型	15
	海外株式型	54
REIT	国内型	1
	海外型	3
バランス型		3
その他		2
合計		84

販売休止中の商品は標記しておりません。

5. お客様にふさわしい商品・サービスの提供について

○ とちぎんTT証券ファンドラップ



5. お客様にふさわしい商品・サービスの提供について

とちぎん T T 証券ファンドラップ コミュニケーションシート

STEP 01 ゴール設定 (運用目的)

START 運用状況 STEP 01 ゴール設定 STEP 02 投資プランの検討 STEP 03 オプション設定 STEP 04 ご契約内容の確認

増やす

① お客様の考えるゴールを教えてください

旅行を楽しむ

老後の生活の充実

子/孫への援助

住宅購入・リフォーム資金

相続への備え

マイカー購入

フリーワード入力を行う

増やしながら受け取る

資産寿命の延長から考える ② 定時定額払戻とは

① これらをご選択の場合、定時定額払戻を利用されることが前提となります。

運用の目的 (フリーワード)

STEP 01 ゴール設定 (運用期間)

START 運用状況 STEP 01 ゴール設定 STEP 02 投資プランの検討 STEP 03 オプション設定 STEP 04 ご契約内容の確認

2022年現在から考える

① 何年後に目標金額を達成したいか考えてみましょう。

5年後

10年後

15年後

20年後

30年後

目標とする年

西暦 2035 年

年齢から考える

西暦 年 生まれの人が 歳 の時

---年

STEP 02 リスク診断

コミュニケーションシート

あなたの今回の投資に関するお考えをお聞かせください。お伺いした内容に基づいて当社が考える最適な運用コース（資産配分）をご提案させていただきます。（所要時間：約5分）

Q1. お客様の年齢を入力ください。
(法人のお客様の場合入力不要です。)

歳

Q2. 今回の投資額をお聞かせください。 (増額の場合は、増額金額をプラスの値で入力、減額の場合は、減額金額をマイナスの値で入力してください。)

現在の投資額 円

今回の投資額 円

投資額合計 円

Q3. 投資資金の資金性格を選択してください。

預貯金
 退職金

金融商品（株、債券、投資信託など）の売却・償還資金、不動産売却資金
 遺産相続・贈与資金

その他

STEP 02 投資プランの検討

START STEP 01 ゴール設定 STEP 02 投資プランの検討 STEP 03 オプション設定 STEP 04 ご契約内容の確認

ゴール設定

目標金額 万円 目標とする年 西暦 2035 年

今日投資額

万円

現在の投資額 円 現在の時価総額 円

投資額合計 円 時価総額合計 円

将来予測シミュレーションチャート

インデックスプラン (シミュレーションは令和2年度(2022年)より)

エクスタングプラン
リスク削減効果
積極型

中立的型

安定型

目標金額	500万円	A 削減ケース	815万円	B 標準ケース	539万円	C 本拠ケース	356万円
------	-------	---------	-------	---------	-------	---------	-------

※本シミュレーションは、お客様にご提示している運用コースの自然とするリターンと価格変動リスクから継続的利手まで算出した値を示しており、将来の運用成果を保証するものではありません。
 ※なお、本シミュレーションは、ファンドラップに係る手数料相当額（ファンドラップ手数料と投資顧問報酬、及び、繰り入れ後付増しの管理報酬）を控除した上で算出しております。
 ※詳しくは、「チャートの見方」をご確認ください。

6. 従業員に対する適切な動機づけの枠組みについて

<方針>

・当社は、お客様本位の業務運営を実現するため、F P（フィナンシャル・プランナー）などの資格取得を奨励するとともに、業績評価や研修体系の構築など、従業員に対する適切な動機づけの枠組みやガバナンス体制を整備いたします。

<アクションプラン>

- ・当社は、お客様本位の金融サービスを実現するため、職員への研修・教育による人材育成に努め、F P（フィナンシャル・プランナー）資格の取得奨励など、職員の専門的なスキル向上に努めてまいります。
- ・お客様の最善の利益追求に不可欠な、お客様の運用志向やライフサイクルに係る情報の取得への取組みを評価体系に組み入れ、お客様本位の業務運営の浸透と定着を図ってまいります。
- ・顧客本位の業務運営を支える組織体制の強化のための「F D推進委員会」を設置し、適切なガバナンス体制を構築いたします。

①取組状況（2024年度）

原則2：顧客の最善の利益の追求/原則6：顧客にふさわしいサービスの提供
原則7：従業員に対する適切な動機づけの枠組み等 に対応

●人事制度改革

・人間性および専門性、行動力等を重点に置く評価制度に変更の取組を実施いたしました。

●顧客の中長期運用実績を評価する営業評価体制の構築

・営業評価において「顧客資産の中長期的な成長」に資する項目として、「総顧客収支率」に加えて「外貨建て資産純増」「投信保有期間」「投信ポートフォリオ約定」評価を2024年度新たに導入いたしました。

●人材育成

・研修プログラムによる各階層による各種研修及び勉強会の実施を継続いたしました。

・グループ内の銀行職員に対し、幅広い証券知識の習得を目的とし、月平均12回のマーケットに関する勉強会を継続実施いたしました。

・顧客へのポートフォリオ提案力の向上を目的とし、外部講師によるポートフォリオ構築実践研修、提案ツール利用研修を実施いたしました。

・若手営業員の顧客への提案力の強化を目的とし、プレゼンテーション研修を実施のうえ「社内プレゼンテーション大会」を開催いたしました。

●金融リテラシーの醸成

・地域の皆様の資産形成をサポートするため、2024年度に資産運用、新NISAをテーマとした職域セミナーを23回開催いたしました。

●F P（フィナンシャル・プランナー）取得状況

・2024年度は、FP資格に加え、新たに資産形成コンサルタント資格を61名が取得いたしました。

●「F D推進委員会」による、お客様本位の金融サービス実現のための施策立案と検証

・顧客本位の業務運営を支える組織体制の強化としての「F D推進委員会」を経営会議の配下に設置し、社内横断的に共有/協議することで当社内F Dの高度化を図っております。

<人材育成（研修）>

2024年度研修
2024年度新入社員入社時研修
新入社員ビジネスマナー研修
2024年度新入社員資産運用研修
新任営業員研修
2024年度新任管理職マネジメント研修
中堅営業員研修・評価者基本研修・女性社員集合研修
ポートフォリオ構築実践研修、提案ツール利用研修
若手営業員プレゼンテーション研修

<FP資格取得状況> ※1名で複数取得あり

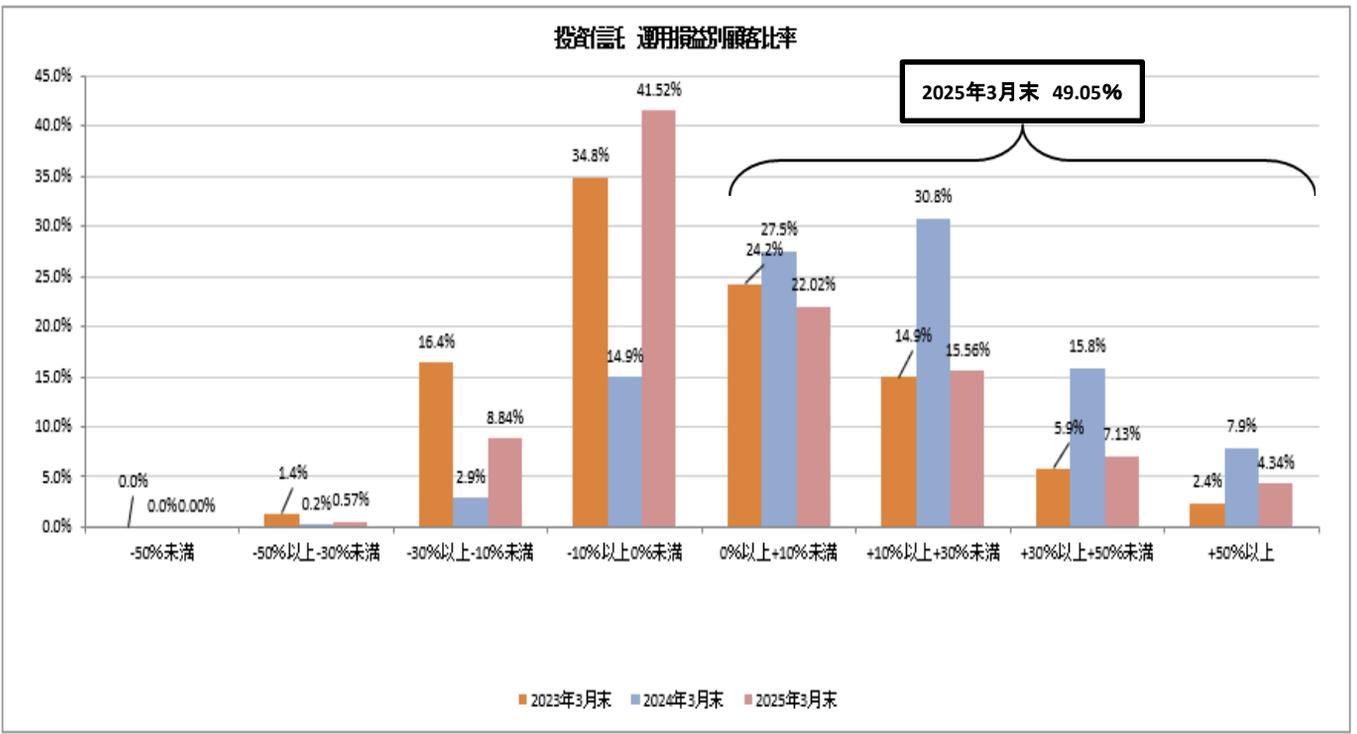
FP資格等の取得状況	
FP1級	4名
FP2級	65名
FP3級	24名
CFP	1名
AFP	28名
資産形成コンサルタント	61名
合計	183名

【比較可能な共通KPI（投資信託）】

2018年6月に金融庁より公表された「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPIについて」において、お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客様が選ぶ上で比較することができる統一的な指標が示されました。当社の「比較可能な共通KPI（投資信託）」は次のとおりです。（KPIとは、“Key Performance Indicator”の略で、一般に業績測定のために鍵となる指標のことです。）

1. 投資信託・ファンドラップの運用損益別顧客比率

とちぎんTT証券は、栃木銀行グループの一員として、「お客様に適したきめ細かなサービスを提供し、ご満足いただいた結果が地域の活性化に結びつく証券会社」を目指し、お客様本位で行動する事を実践しております。今回2025年3月末現在の「比較可能な共通KPI」を公表いたします。



上図は、投資信託を保有しているお客様について、基準日時点で保有している投資信託の購入時以降の累積運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別にお客様の比率を示した指標です。
 当社において、運用損益がプラスとなったお客様の比率は全体の49.05%となり、前年（81.94%）より32.89%減少しました。

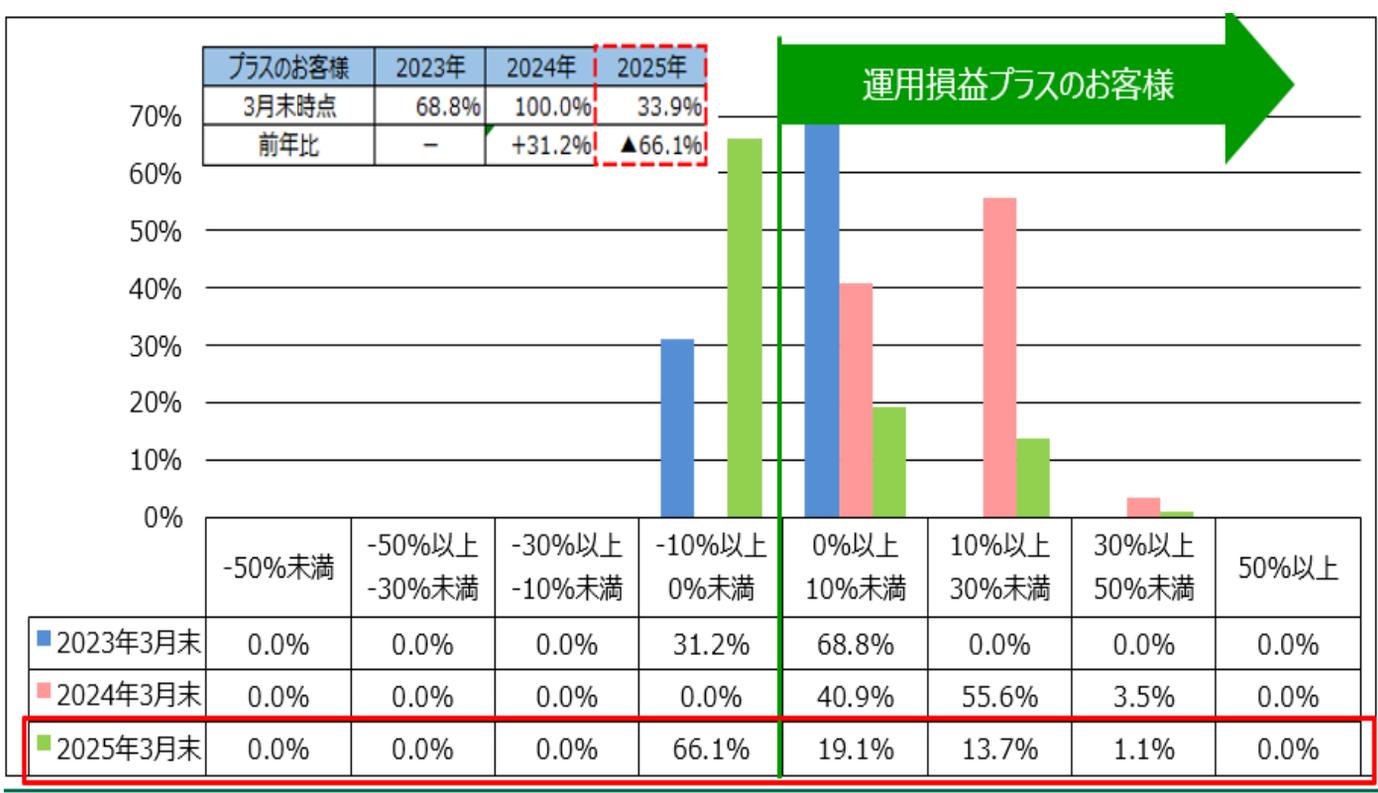
1.投資信託・ファンドラップの運用損益別顧客比率

●とちぎん T T 証券ファンドラップ

下図は、ファンドラップを保有している個人のお客様について、基準日時点で保有しているファンドラップの取引時以降の累積運用損益（費用控除後）を算出し、運用損益別にお客様の比率を示した指標です。

2024年度にはファンドラップを新たに取引開始されるお客様が大幅に増加（全契約者の約7割が2024年度に取引開始）したことから、購入直後の株式市場下落等の環境であったが、2025年3月末では33.9%のお客様が運用損益プラスの状況となりました。尚、運用期間1年超（2024年3月末時点にて運用開始済み）の運用損益プラスのお客様は92.8%となっております。

当社では、2022年9月よりファンドラップの取扱を開始しております。



【比較可能な共通 K P I (投資信託)】

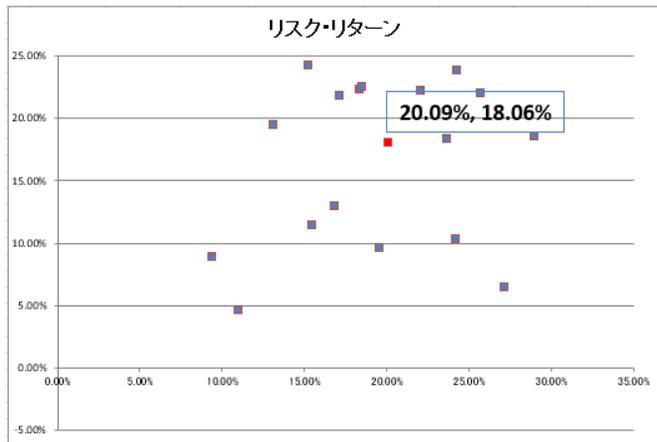
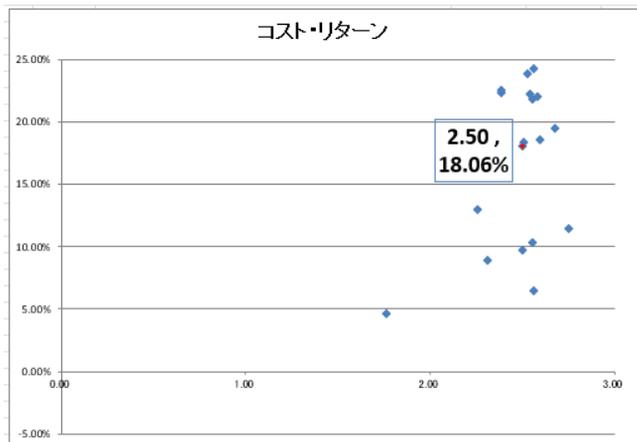
2.投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リスク・リターン

設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、銘柄毎および残高加重平均のコスト・リスクとリターンの関係を示した指標です。

※2025年3月末時点で、設定期間5年以上の銘柄のみ

【2025年3月末】

銘柄名(1位～10位)	銘柄名(11位～20位)
①インベスコ 世界厳選株式オープン<為替Hなし>(毎月決算型)	⑪アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース
②アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース	⑫インベスコ世界厳選株式オープン<為替Hなし>(年1回決算型)
③ピクテ・バイオ医薬品F(毎月決算型)為替ヘッジなしコース	⑬世界ツーリズム株式ファンド
④イーストスプリング・インド消費関連ファンド	⑭ニッセイAI関連株式ファンド(為替ヘッジなし)
⑤グローバルAIファンド(予想分配金提示型)	⑮イーストスプリング・インドネシア株式オープン
⑥J-REIT・リサーチ・オープン(毎月決算型)	⑯ワールド・リート・オープン(毎月決算型)
⑦T&D・インド中小型株ファンド	⑰次世代通信関連 世界株式戦略ファンド
⑧ベトナム成長株インカムファンド	⑱ピクテ新興国インカム株式ファンド(毎月決算型)
⑨サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)	⑲ニッセイ宇宙関連グローバル株式F(資産成長型・為替Hなし)
⑩イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド	⑳国際インド債券オープン(毎月決算型)



残高加重平均値	コスト	リターン
	2.50%	18.06%

残高加重平均値	リスク	リターン
	20.09%	18.06%

コストは販売手数料率の1/5と信託報酬率の合計値、リスク・リターンは年率換算の数値です。
上記の数値等はあくまで過去の実績であり、将来のコスト・リスク・リターンをお約束するものではありません。

【比較可能な共通 K P I (投資信託)】

2.投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リスク・リターン

○投資信託の預り残高上位20銘柄とコスト・リターン・リスクの状況(過去の実績)

【2024年3月末】

銘柄名(1位~10位)	銘柄名(11位~20位)
①ピクテ・バイオ医薬品F(毎月決算型)為替ヘッジなしコース	①ワールド・リート・オープン(毎月決算型)
②J-REIT・リサーチ・オープン(毎月決算型)	②次世代通信関連 世界株式戦略ファンド
③ベトナム成長株インカムファンド	③ピクテ新興国インカム株式ファンド(毎月決算型)
④T&Dインド中小型株ファンド	④国際インド債券オープン(毎月決算型)
⑤インベスコ 世界厳選株式オープン<為替Hなし>(毎月決算型)	⑤ニッセイAI関連株式ファンド(為替ヘッジあり)
⑥サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)	⑥フューチャー・バイオテック
⑦イーストスプリング・インド消費関連ファンド	⑦日本株厳選ファンド・ブラジルリアルコース
⑧イーストスプリング・インドネシア株式オープン	⑧サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジあり)
⑨世界スタートアップ&イノベーション株式ファンド	⑨アドバンテージ日本株式ファンド
⑩BNYメロン・米国株式ダイナミック戦略ファンド	⑩日本株厳選ファンド・円コース

残高加重平均値	コスト	リターン
	2.50%	12.21%

残高加重平均値	リスク	リターン
	20.01%	12.21%

【2023年3月末】

銘柄名(1位~10位)	銘柄名(11位~20位)
①J-REIT・リサーチ・オープン(毎月決算型)	①国際インド債券オープン(毎月決算型)
②ベトナム成長株インカムファンド	②次世代通信関連世界株式戦略ファンド
③サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)	③ニッセイオーストラリア利回り資産ファンド(毎月決算型)
④ピクテ・バイオ医薬品F(毎月決算型)為替ヘッジなしコース	④ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)
⑤CAM ESG日本株ファンド	⑤グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)
⑥T&Dインド中小型株ファンド	⑥日本株厳選ファンド・ブラジルリアルコース
⑦ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	⑦ピクテ・エコディスカバリー・アロケーション(毎月)ヘッジなし
⑧ピクテ新興国インカム株式ファンド(毎月決算型)	⑧米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型)通貨プレミアム
⑨日本株厳選ファンド・円コース	⑨ニッセイJPX日経400アクティブファンド
⑩サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジあり)	⑩マニユライフ・新グローバル配当株ファンド(毎月分配型)

残高加重平均値	コスト	リターン
	2.26%	6.39%

残高加重平均値	リスク	リターン
	20.17%	6.39%

【2022年3月末】

銘柄名(1位~10位)	銘柄名(11位~20位)
①CAM ESG日本株ファンド	①国際インド債券オープン(毎月決算型)
②ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)	②ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)
③J-REIT・リサーチ・オープン(毎月決算型)	③日本株厳選ファンド・ブラジルリアルコース
④ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	④グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)
⑤ベトナム成長株インカムファンド	⑤T&Dインド中小型株ファンド
⑥ピクテ・エコディスカバリー・アロケーション(毎月)ヘッジなし	⑥ニッセイJPX日経400アクティブファンド
⑦ピクテ・エコディスカバリー・アロケーション(年2)ヘッジなし	⑦米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型)通貨プレミアム
⑧ニッセイオーストラリア利回り資産ファンド(毎月決算型)	⑧マニユライフ・新グローバル配当株ファンド(毎月分配型)
⑨ピクテ新興国インカム株式ファンド(毎月決算型)	⑨ニッセイAI関連株式ファンド(為替ヘッジなし)
⑩日本株厳選ファンド・円コース	⑩エマージング・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース

残高加重平均値	コスト	リターン
	2.22%	7.01%

残高加重平均値	リスク	リターン
	18.96%	7.01%

コストは販売手数料率の1/5と信託報酬率の合計値、リスク・リターンは年率換算の数値です。
上記の数値等はあくまで過去の実績であり、将来のコスト・リスク・リターンをお約束するものではありません。